

第 21 回歴史地震研究会プログラム

1854 年安政東海・南海地震, 1854 年伊賀上野地震からちょうど 150 年を迎える 2004 年は, 三重県鳥羽市において研究発表会・公開シンポジウム・総会・野外見学会が次の日程で実施されました.

2004 年

9 月 17 日 (金) 午後, 18 日 (土) 午前

・研究発表会 (主催: 歴史地震研究会, 後援: 三重県・鳥羽市)

9 月 18 日 (土) 午後

・公開シンポジウム「三重県の歴史地震と津波を考える」

(主催: 歴史地震研究会・鳥羽市・三重県)

・総会

9 月 19 日 (日)

・野外見学会: 安政および明応東海地震に関係した三重県内の史跡・遺跡

詳しいプログラムは, 以下の通りです.

9 月 17 日 (金) 研究発表会一日目, 懇親会

13 時 ~ 17 時 研究発表会 (鳥羽市民文化会館大会議室)

[各地の津波] (13 時 ~ 15 時) 座長: 谷岡勇市郎

1. 佐竹健治 (産総研)・山木 滋 (シーマス): 17-21 世紀の十勝沖地震の震源域
2. 山下文男: 明治三陸津波 1 周年後に岩手県知事より内務省に提出した「海嘯始末ニ申報」について — 続・津波における「引き波の恐怖」 —
3. 山下文男: 溺死者の最多は子供と老年世代 — 昭和三陸津波と北海道南西沖地震津波の場合 —
4. 谷岡勇市郎 (北海道大)・佐竹健治 (産総研): 1923 年関東地震の津波波形解析
5. 伊藤純一・都司嘉宣・行谷佑一 (東大地震研): 慶長九年十二月十六日 (1605.2.3) 津波の房総半島における被害の検証
6. 伊藤純一 (東大地震研): 文化五年十月十七日 (1808.12.4) 四国・紀伊半島で記録された小津波
7. 安藤雅孝・Besaba Glenda (名古屋大): 1605 年慶長地震のメカニズム
8. 宮本大輔・村上仁士・上月康則・吉田和郎 (徳島大): 歴史津波再現時における数値シミュレーション精度の問題点
9. 石辺岳男・島崎邦彦 (東大地震研): 1596 年慶長豊後地震に伴う津波の波源推定

[ポスター発表] (15 時 ~ 15 時 30 分)

10. Brian Atwater (米国地質調査所)・六角聰子・佐竹健治 (産総研)・都司嘉宣 (東大地震研)・上田和枝・David Yamaguchi: 日本の津波から推定された 1700 年の北米カスケード地震: その後の発展
11. 竹内 仁・村嶋陽一 (国際航業)・今村文彦 (東北大)・首藤伸夫 (岩手県立大)・吉田健一 (岩手県総務部): 数値シミュレーションを活用した明治・昭和三陸津波の岩手県沿岸における痕跡資料の検証

12. 鈴木 介（防災技術コンサルタント）・今村文彦（東北大）・首藤伸夫（岩手県立大）：
津波痕跡高資料のデジタル化について ― 1896年明治三陸・1933年昭和三陸津波を例として ―
13. 大谷 寛・村上仁士・上月康則（徳島大）：安政南海地震における徳島市の被害
14. 都司嘉宣・行谷佑一・伊藤純一（東大地震研）：宝永（1707）・安政東海（1854）地震津波の三重県における集落別詳細震度分布
15. 中村 操（防災情報サービス）・都司嘉宣（東大地震研）：安政伊賀上野地震(1854)による三重県内の集落別詳細被害・事象分布
16. 木村玲欧・林 能成（名古屋大）：1945年三河地震の被災状況と復興過程―ヒアリング調査を通して―
 - ・林 豊（気象研）：2004年9月5日の紀伊半島沖の地震活動について
 - ・山中佳子（東大地震研）：2004年紀伊半島南東沖地震の震源過程
 - ・名古屋大学災害対策室・名古屋大学環境学研究科附属地震火山・防災研究センター：2004年9月5日に発生した2つの紀伊半島南東沖の地震について
 - ・行谷佑一・都司嘉宣・伊藤純一（東大震研）・高橋智幸・今井健太郎・富岡展行（秋田大工学資源学部）：2004年9月5日記伊半島南東沖地震による三重県の地震，および津波被害 ― 海岸調査，および新聞記事の収集調査結果 ―

[三重県の地震と津波] (15時30分～17時) 座長：植竹富一

17. 青島 晃（静岡県立浜松北高校）：東南海地震（1944）により静岡県西部地方と三重県南部地方で発生した地鳴りの方向性
18. 吉川周作・岡橋久世・三田村宗樹・廣瀬孝太郎（大阪市立大）：三重県鳥羽市相差の完新世湿地堆積物のイベント層序
19. 岡橋久世（大阪市立大）・秋元和実（熊本大）・吉川周作・廣瀬孝太郎（大阪市立大）：
鳥羽市相差の湿地堆積物に見出される津波イベント堆積物
20. 行谷佑一・都司嘉宣（東大地震研）：宝永（1707）・安政東海（1854）地震津波の三重県における詳細津波浸水高分布
21. 羽鳥徳太郎：伊勢湾岸市街地における安政東海津波（1854）の浸水状況
22. 都司嘉宣・伊藤純一・上田和枝（東大地震研）・中村 操（防災情報サービス）：『外宮子良館日記』等、三重県の日記に記録された有感地震について

18時～20時 懇親会（鳥羽市内 ホテル戸田家）

9月18日午前 研究発表会二日目，公開シンポジウム，総会

09時～11時45分 研究発表会（鳥羽市民文化会館大会議室）

[各地の地震・噴火] (09時～10時30分) 座長：山岡耕春

23. 武村雅之（鹿島）：1900年宮城県北部地震の再調査：明治・大正期の地震のむずかしさ
24. 松浦律子（地震予知総合研究振興会）・中村 操・茅野一郎・唐鎌郁夫（防災情報サービス）：象潟地震など江戸時代の6地震の規模再検討結果
25. 植竹富一（東京電力）・中村亮一（東電設計）・宇佐美龍夫・渡邊 健（渡辺探査技研）：
1828年越後三条地震の地変等の記事について
26. 中村 操・茅野一郎（防災情報サービス）・松浦律子（地震予知総合研究振興会）：安政江戸地震（1855）の江戸市中の焼失面積の推定

27. 都司嘉宣・上田和枝・伊藤純一（東大地震研）：領主別被害合計資料から被害が起きた個々の集落を推定する手法 — 元禄地震（1703）の詳細震度分布推定研究への応用 —
28. 小山真人（静岡大）・西山昭仁（大谷大）：三重県伊勢・長野県下伊那などの西方遠隔地で書かれた1707年富士山宝永噴火の目撃記録

[ポスター発表] (10時30分～11時)

29. 宇佐美龍夫（東大名誉教授）・渡邊 健（渡辺探査技研）：江戸（東京）における毎年の有感地震回数の変遷
30. 中村亮一（東電設計）：石塔による地震被害調査の可能性について—横浜外人墓地の被害など—
31. 小松原 琢（産総研）・東 幸代（滋賀県立大）・西山昭仁（大谷大）・北原糸子（東洋大）・水野章二（滋賀県立大）：史料と活断層調査から推定した寛文二（1662）年近江・若狭地震の地震像
32. (発表キャンセル)
33. 小泉尚嗣・佐藤 努（産総研）・中林憲一（和歌山県）：1946年南海地震の時の愛媛県道後温泉と和歌山県湯峯温泉の変化について

[各地の地震・噴火2] (11時～11時45分) 座長：加藤祐三

34. 井上公夫（日本工営）：神奈川県山北町における元禄地震（1703）と富士山宝永噴火（1707）による長期間の土砂災害と復興過程
35. 西山昭仁（大谷大）・東 幸代・水野章二（滋賀県立大）・北原糸子（東洋大）・小松原琢（産総研）：寛文二年（1662）近江・若狭地震における震災への対応と影響
36. 坂部和夫：天正地震（1586年）時の岐阜県上矢作町荒における大規模山体崩壊について

13時～17時 公開シンポジウム

公開シンポジウム「三重県の歴史地震と津波を考える」

主催：歴史地震研究会・鳥羽市・三重県

会場：鳥羽市民文化会館大ホール

司会：伊藤和明（元NHK解説委員）

プログラム：

13時00分～13時10分 主催者あいさつ

13時10分～15時10分 第1部 基調講演

安藤雅孝（名古屋大学）：東海・東南海地震と三重県

都司嘉宣（東京大学地震研究所）：三重県の歴史地震と津波

矢田俊文（新潟大学）：1498年明応東海地震の津波被害と中世安濃津の被災

村山 眸（鳥羽市文化財調査委員）：志摩国（現鳥羽市・志摩郡）の津波の記録について

15時30分～17時00分 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター：伊藤和明

パネリスト：安藤雅孝，都司嘉宣，矢田俊文，村山 眸

17時30分～18時 歴史地震研究会総会（鳥羽市民文化会館中会議室）

9月19日（日）野外見学会

08時～17時 野外見学会

安政および明応東海地震に関係した三重県内の史跡・遺跡を見学.

案内者：

都司嘉宣（東大地震研）

岡橋久世（大阪市立大学）・

伊藤裕偉（三重県埋蔵文化財センター）

見学スケジュール：

08時 鳥羽駅前に集合

見学地

- ・鳥羽市本浦：安政東海津波碑
- ・鳥羽市国崎：安政東海津波碑と波高特異点
- ・鳥羽市相差：津波堆積物掘削地
- ・伊勢市大湊：安政東海地震で被災した享保年間築造の岸壁
- ・津市阿漕浦：明応東海津波で壊滅した安濃津

17時 近鉄津駅解散